

健康 わんだーらんど Wonder Land



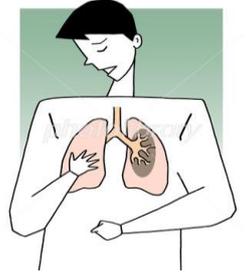
こんにちは 健康ワンダーランドです。今回は“肺癌の検査と治療”について取りあげてみました。

「肺癌について」

佐世保中央病院 外科 副部長（呼吸器外科） 扇玉 秀順

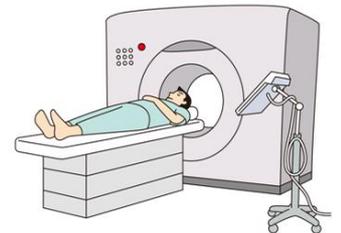
1. はじめに

医療が進歩して多くの方が長生きできるようになり、日本人の平均寿命は世界最長となっています。しかし、高齢化とともに癌患者は増え、肺癌になる日本人はいまや年間13万人、肺癌で亡くなる方は年間7万5千人に及び、これは他の癌とくらべて最も多い数です。医療が進歩した現在でも、肺癌で亡くなる方は非常に多いといつて良いでしょう。肺癌の死亡者が多いのは、その大半がもう根治がのぞめない状況でようやく発見されることが大きな理由であり、現在の検査精度や治療技術を活用して早期に発見し、適切に対応できたならば、肺癌といえど完治に期待ができる時代です。「肺癌で亡くなる人」が増えていると同時に、「肺癌になってしまったけど治る人」も増えているのです。



2. 肺癌の検査

肺癌はこっそりと長い間、体に潜んでいることがあり、その間は自覚症状がほとんどありません。自覚症状が出てから検査を受けて発見される肺癌は根治できないほど進行していることが少なくなく、そういった症状が出る前にいかに積極的に検診で発見するかがとても大切です。肺癌検診はレントゲンやCTが代表的で、PET/CTなどを行うこともあります。治る段階で肺癌を早期発見するためにも、1年に1回を目安にレントゲンやCTを受けるようにしましょう。これらの検査で、もし肺癌を疑うような影を指摘された場合は、その影が本当に癌なのかどうか病変の一部を採取して組織の診断をします。気管支鏡という内視鏡検査が一般的で、他にもCTガイド下生検という方法があります。これらの検査で癌が証明されれば治療に進みます。これらの検査を行っても癌が証明されない場合や、検査をするのが困難な場合は、CTでその後の変化を経過観察するか、治療前に癌が証明できなくとも肺癌とみこして治療に踏み切るようになります。



3. 肺癌の治療

①放射線療法、②薬物療法、③外科手術が基本の治療になり、それぞれに大小様々なメリットとデメリットが存在します。そして癌と共存しながら余生を過ごす④緩和治療も、高齢化社会をむかえた近年の重要な選択肢になってきています。

⇒ 次ページへ

① 放射線治療

肺癌細胞を放射線で死滅させる治療です。さまざまな照射法の工夫・改良が行われ、手術に耐えられない高齢者や心肺機能が低下した方の重要な治療選択肢となってきています。当院では従来法よりも治療合併症を抑えた「定位放射線治療」が可能です。治療目的以外にも、たとえば骨転移をおこして骨が痛む患者の痛みを和らげるなどの応用ができます。

② 薬物療法

肺以外にも転移してしまった癌細胞全体に対して行う治療で、ここ数年でめざましく治療成績が伸びています。これまで主力であった抗癌剤と呼ばれる「殺細胞性」の薬剤は、その名の通り、癌細胞とともに正常な細胞にもダメージが及んでしまうことが問題で、癌細胞を殺すのと引きかえに自身の体力も失っていました。そこに、分子標的治療薬とよばれる癌をターゲットに絞って作用する薬や、免疫チェックポイント阻害薬という自分の免疫力を活かす治療薬が開発され、すでに肺癌が進行してしまっている患者様であっても体力を維持して何年も生きられるようになってきています。

③ 外科治療

癌ごと肺を切り取ることで完治をめざす治療です。どれくらいの肺を切り取るかは癌の大きさや基礎体力によって変わり、肺を小さく切除することもあれば大きく切除することもあります。以前は開胸といって20～30cmほどのキズをつけて肋骨を骨折させ手術をしていましたが、キズを小さくする工夫が発展し、現在は胸腔鏡というカメラを用いることで4cm以下の小さいキズをいくつか作るだけで肺を切除できるようになりました。こうして患者様の体の負担が軽減されたことで、高齢者に対しても手術が可能になり、術後も元気に社会復帰ができるようになりました。当院ではこの身体の負担が少ない胸腔鏡手術をメインで行いつつ、必要時には開胸手術にも対応できる体制で手術を行っています。

④ 緩和治療

外科治療や薬物療法を受けることが難しい基礎体力や超高齢の方、あるいはそういった治療そのものを好まない方、薬物療法で体力をうばわれ治療継続が困難になった方などへ、癌によって生じる諸症状を和らげるための治療です。患者様の痛みや不安に対して薬や放射線を用いるのはもちろん、看病されるご家族への寄り添いや在宅環境の整備など、患者様に残された時間をより質の良いものにすることを目指しています。

4. おわりに

当院は、健康増進センター・呼吸器内科・呼吸器外科・放射線科・麻酔科・緩和ケアチームを備え、肺癌の検診・精密検査・診断・治療、あるいは最期の看取りまで、一貫した幅広い患者様対応をすることが可能な数少ない病院です。あなたやあなたの大切な人の身体に「いまなら治せる肺癌」が潜んでいるのかもしれない。当院で検診を受けてみませんか？

◆ オプション検査項目のご紹介



人間ドック利用者様向けに、領域ごとのオプション検査項目をまとめましたので、ご参考ください。

※表記項目は、事前予約が必要となります。

● 脳血管・循環器関連

項目名	税込料金	内容説明
MRI・MRA（脳血管撮影）※	¥22,000	強い磁石を使用し、脳内を調べる検査で、脳動脈瘤、脳腫瘍などの脳疾患の有無が分かります。体内にペースメーカーや金属のある方は受けることが出来ません。
頸動脈エコー ※	¥4,950	頸動脈の血管壁を観察して、動脈硬化の程度を調べます。
血圧脈波測定（PWV）	¥3,850	両手、両足の血圧、脈波を同時に測定し、下肢動脈の狭窄や血管の硬さの程度を調べるための検査です。（2日ドックコースには標準項目として含まれています。）
BNP	¥1,650	心不全の疑いがないかどうかのスクリーニング検査です。血液検査で調べます。

● 呼吸器・消化器関連

肺CT（低線量）※	¥8,800	CT検査により、精密に肺腫瘍の有無を調べます。また、肺癌検診専用として、放射線による被ばくは必要最小限に抑えています。（2日ドックコースには標準項目として含まれています。）
大腸内視鏡 ※	¥16,500	肛門より内視鏡を挿入し、大腸がんの有無を調べます。
抗ヘリコバクターピロリIgG抗体	¥1,100	ピロリ菌感染の有無をスクリーニングします。（但し、健診当日胃カメラ検査を実施し、胃組織片の採取が可能な方は別検査を行いますので、対象外となります。）

● 甲状腺・乳腺関連

甲状腺エコー ※	¥4,950	甲状腺の形態を超音波で調べます。（事前に医師へ実施確認を行います。）
TSH、F-T4	¥3,300	甲状腺の機能を血液検査で調べます。
マンモグラフィー ※	¥4,400	40歳以上の方は定期的に「マンモグラフィー検査」を受診することを厚生労働省が推奨しています。
乳腺エコー ※	¥4,400	いずれも「乳房視触診」よりも小さい段階でがんを発見できる可能性が高くなります。授乳中の方、もしくは30歳代までの方は「乳腺エコー」をお勧めします。

● 婦人科関連

子宮頸がん検診（腔がんを含む）細胞診 + 経膈エコー	¥4,400	子宮頸部の細胞を採取して、がん細胞の有無を調べます。
子宮体部細胞診検査 ※	¥5,500	子宮体部の細胞を採取して、がん細胞の有無を調べます。
HPV検査	¥4,400	子宮頸がん発症の原因とされるヒトパピローマウイルス（HPV）の感染を調べる検査です。
骨塩量評価（超音波パルス透過法）	¥2,750	骨粗鬆症のスクリーニング検査として、超音波でかかとの骨塩量を推定する検査です。

● 血液がん検査項目

腫瘍マーカー	CEA	¥2,200	各種がん（大腸・胃・肺など）のスクリーニング検査です。
	AFP	¥2,200	主に肝臓がん（肝細胞がん）のスクリーニング検査です。
	PSA	¥2,200	前立腺がんのスクリーニング検査です。

● その他

リウマチ因子（定量）	¥550	関節リウマチの罹患の可能性について調べる検査です。
血液型	¥550	Rh式、ABO式で血液型を調べます。
麻疹IgG抗体（EIA法）	¥3,300	麻疹に対する抗体を有するかどうかの検査です。
風疹IgG抗体（EIA法）	¥3,300	風疹に対する抗体を有するかどうかの検査です。

佐世保中央病院 健康増進センター 基本理念と基本方針

【基本理念】

受診者の健康を支援し、活力のある地域社会の実現に貢献します。

1. 生活習慣病の早期発見と予防の啓発に努め、健康の維持・増進をサポートします。
2. 検査技術や診断機器の精度向上を常に心がけ、質の高い健康診断を提供します。
3. 健康診断や保健指導を通して、受診者のライフスタイルを考えた継続的な支援を行います。
4. すべてのスタッフが相互に協力・連携して、受診者の皆様に満足いただけるサービスを提供します。
5. 健康診断業務で得られた個人情報の守秘義務と、受診者ご自身の知る権利を遵守します。

健康増進センター 診察担当医

	月	火	水	木	金
午前診察	常勤医 : 中尾・寺園 非常勤医 :	元永・石嶋			
午後診察	※ 毎日2~3名の医師が担当いたします				
婦人科検診	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸

健診に関するご予約・お問い合わせについて

☆健診をご希望の方は、**完全予約制**になっておりますので、健康増進センター窓口にお越しいただくか、お電話およびホームページからのご予約をお願い致します。

○お問い合わせ時間

月～金曜日 9:00～12:00 13:00～16:00

○休診日 土・日曜日、祝日 8月14日～15日（夏季） 12月30日～1月3日（年末年始）



【健康増進センター直通】

電話番号 (0956)33-5335

FAX番号 (0956)33-5336

メールアドレス sch-kenkoh@hakujujikai.or.jp

右のQRコードをご登録してアクセスいただければ
当施設ホームページから人間ドックのご予約ができます。



編集後記

早いもので、今年も残すところ2ヶ月余りとなり、この健康ワンダーランドも本年最後の発行となりました。一年間ご愛読いただき有り難うございました。さて、本号では、肺癌について、検査と治療に関する詳しい情報提供を、担当医師より行わせていただきました。ご参考いただければ幸いです。次回発行日は、来年1月を予定しています。どうぞご期待ください。

